

授業科目名	子ども家庭支援論	担当教員名	上村 康子
必修/選択	必修(保育士資格/社会福祉主事任用資格)	開講学年・学期	1年 後期(年間開講数 2講座)
科目区分	保育に関する科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等	保育の本質・目的の理解に関する科目(別表1)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※「家庭福祉論」の指導内容を含む
授業の到達目標	(1)子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。 (2)保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。 (3)子育て家庭に対する支援の体制について理解する。 (4)子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。		
授業の概要	近年、子どもや女性、家庭を取り巻く状況は大きく変わってきており、本来は子どもが安全で安心して生活する場の家庭において課題を抱えるケースが少なくない状況にあることから、保育士をはじめとする保育者や支援者による子育て家庭に対する支援が求められている。そこで、子ども家庭福祉の理念と意義とともに子育て家庭に対する支援の必要性と意義・目的、さらには支援体制について学習する。学んだことを踏まえて、保育士をはじめとする保育者や支援者が支援していく意義と必要とされる専門性、関係する法や制度、自治体や関係機関等との連携、社会資源、様々な支援活動について、新聞記事や事例等を活用して受講生一人一人で行検討するだけでなく、グループおよび受講生全員で行検討・討議し、まとめ、発表するという形で授業を展開する。		
テキスト	使用しない		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>」(株式会社チャイルド本社)、『子ども家庭支援論』松原康雄・村田典子・南野奈津子編、(中央法規出版,2019) 資料: 授業時に担当教員作成のプリント配布。毎回、そのプリントに基づき授業を展開。		
成績評価の方法	①平常点(授業時の課題への取り組み、ノート作成、プレゼンテーション力) 50% ②定期試験(筆記試験) 50%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	「現代社会と子ども家庭福祉—家庭・福祉とは?—」 家庭・福祉をどのようにとらえていくか、KJ法等を活用して考える。	(1)	
第2回	「現代社会と子ども家庭福祉—子育て家庭を取り巻く状況—」 増加傾向にあるとともに深刻化している経済的な不安や困難さ、ひとり親家庭の増加、地域の子育て支援力の弱小化など、子育て家庭を取り巻く状況について学習する。その上で、子ども家庭福祉の理念と意義について考える。	(1)	
第3回	「子ども家庭支援の意義と役割—子ども家庭支援の意義と必要性、目的、機能—」 子育て家庭を取り巻く状況についての学習を踏まえて、子ども家庭支援の意義と必要性、さらにはその目的と機能について考え、理解を深める。	(1)	
第4回	「子育て家庭に対する支援の体制 1 —子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進—」 子育て家庭に対する支援施策・次世代育成支援施策の変遷を概観し、子ども・子育て支援新制度と実施体制について学習する。	(3)	
第5回	「子育て家庭に対する支援の体制 2 —子育て家庭の福祉を図るための社会資源—」 子育て家庭の福祉を図っていく上で活用できる社会資源について学習し、把握する。	(3)	
第6回	「保育士による子ども家庭支援の意義と基本 1 —保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義—」 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義とあり方について、主に「児童福祉法」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」等を通して考え、理解を深める。	(2),(3)	
第7回	「保育士による子ども家庭支援の意義と基本 2 —子どもの育ちの喜びの共有—」 保護者にとって子どもの育ちの喜びを保育士と共有することの意義を「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、「幼稚園教育要領」等を通して考え、理解を深める。	(2)	
第8回	「保育士による子ども家庭支援の意義と基本 3 —保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援—」 子育て家庭だけでなく地域全体で子育てをしていくことの大切さとそのための支援の意義を考え、理解する。	(2),(3)	
第9回	「保育士による子ども家庭支援の意義と基本 4 —保育士に求められる基本的態度—」 子育て家庭を支援する際に求められる保育士をはじめとする保育者および支援者の基本的姿勢や倫理などについて、「全国保育士会倫理綱領」(2003年策定)を参考にして考えるとともに、ロールプレイングを通して理解を深める。	(2),(3)	
第10回	「保育士による子ども家庭支援の意義と基本 5 —家庭の状況に応じた支援—」 様々なニーズを抱えた子育て家庭に対する支援について考え、理解する。	(2),(3)	
第11回	「保育士による子ども家庭支援の意義と基本 6 —地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力—」 子ども家庭支援においては地域の資源の活用と自治体や関係機関等との連携・協力が不可欠であり、そのあり方について考え、理解を深める。	(2),(3)	
第12回	「多様な支援の展開と関係機関との連携 1 —保育所等を利用する子どもの家庭への支援—」 保育所をはじめとする保育施設等を利用する子ども家庭への支援について、事例等を用いて検討し、まとめ、発表する。	(3),(4)	
第13回	「多様な支援の展開と関係機関との連携 2 —地域の子育て家庭への支援—」 地域の子育て家庭への支援について、事例等を用いて検討し、まとめ、発表する。	(3),(4)	
第14回	「多様な支援の展開と関係機関との連携 3 —要保護児童等及びその家庭に対する支援—」 要保護児童等とその家庭に対する支援について、新聞記事や事例等を用いてグループで検討し、まとめ、発表する。	(3),(4)	
第15回	「多様な支援の展開と関係機関との連携 4 —子ども家庭支援の内容と対象及び子ども家庭支援に関する現状と課題—」 今までの授業を踏まえて子ども家庭支援の対象と内容を振り返った上で、子ども家庭支援の現状についてまとめ、今後の子ども家庭福祉及び子ども家庭支援のあり方について考察する。	(1),(2),(3),(4)	
定期試験	筆記試験		